

令和元年度

公民館運営状況に関する
点検・評価報告書

令和元年 11月

栃木市教育委員会事務局生涯学習部公民館課

目 次

1. 趣旨・目的	1
2. 点検評価の手順	1
3. 評価の基準	1
《参考》	2
4. 公民館点検・評価スケジュール等	3
5. 令和元年度（平成30年度事業）公民館点検・評価一覧表	4
6. 令和元年度（平成30年度事業）公民館点検・評価シート	5

～ 83

令和元年度（平成30年度事業）公民館運営状況に関する

点検・評価等について

1. 趣旨・目的

公民館運営状況に関する評価等については、平成15年6月の文部科学省告示による公民館の設置及び運営に関する基準に続き、平成20年6月に社会教育法が改正され、公民館は運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき、運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めるものとされました。

また、地域住民等の関係者の理解を深め、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、運営の状況を積極的に提供するよう努めるものとされました。

本市においても、栃木市教育計画の主な施策及び栃木市生涯学習振興計画の主要施策である「社会教育施設の充実」の中において、社会教育施設の利便性向上を図るため、施設運営状況の評価を行うことを具体的な取組事項として位置づけています。社会教育施設の中でも公民館は、地域課題の解決に向けた拠点施設として重要な役割を担っていることから、公民館運営の状況に関する評価を行い、効果的な公民館運営及び活動の推進に努めることが必要です。

以上のようなことから、令和元年度も各公民館における運営状況等を見直し、改善していくことを目的として、職員による自己評価及び栃木市公民館運営審議会による外部評価を実施し、その結果を地域住民の皆様に公表していきます。

2. 点検評価の手順

各公民館運営方針に基づき、各公民館が自己点検・自己評価を行い、栃木市公民館運営審議会に報告します。

次に、栃木市公民館運営審議会委員は、各公民館からの自己評価を踏まえ、外部評価を行います。その後、外部評価の結果を市ホームページ等に掲載することにより公表します。

3. 評価の基準

評価の基準は、「公民館運営」、「地域の学習拠点づくり」、「施設の利用」の3つの事業の評価項目について、AAからDの5段階評定とし、総合評価を行います。

【評価の視点】

- AA 大変よくできた（十二分）
- A よくできた（十分）
- B できた（普通）
- C できなかった（やや不十分）
- D まったくできなかった（不十分）

《参 考》

★公民館の設置及び運営に関する基準（平成 15 年 6 月 6 日文部科学省告示 112 号）

（事業の自己評価等）

第 10 条 公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。

★社会教育法（平成 20 年 6 月 11 日改正）

（運営の状況に関する評価等）

第 32 条 公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第 32 条の 2 公民館は、当該公民館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

公民館点検・評価スケジュール等

年度	月	内 容	備 考
H29	6月	28日(水) 第1回公民館運営審議会 ・公民館点検・評価シート・項目・スケジュールの説明	学級講座受講者 満足度調査【各年随時】
	8月	23日(水) 社会教育委員会議 ・公民館点検・評価実施についての説明	
	9月～10月	・施設利用団体満足度調査の実施 固定利用団体【代表者】	施設利用団体満足度 調査実施期間 【各年9月～10月】
	11月	・施設利用団体満足度調査のまとめ【下旬】	
	H30年2月	9日(金) 第2回公民館運営審議会	
H30	4月～5月	・公民館点検・評価シートの各公民館による自己評価	
	6月	29日(金) 第1回 公民館運営審議会 ・成果・計画及び平成29年度公民館点検・評価の説明	
	7月	・点検評価に係る各委員からの質問受付(7/9まで) ・各公民館長による地元委員への各館の状況説明等(7/2～7/18) 31日(火) 第2回 公民館運営審議会 ・各委員からの評価・意見等の報告 ・委員による外部評価実施	
	8月	17日(金) 正副委員長による委員評価・意見等の確認 24日(金) 公民館点検・評価シート(報告書)を作成し、公民館運営審議会委員へ配付 28日(火) 社会教育委員会議への点検・評価実施報告	
	9月	12日(水) 教育委員会連絡調整会議への実施報告 25日(火) 定例教育委員会への実施報告	
	11月	・平成30年度(平成29年度事業)公民館点検・評価シート(報告書)公表	
R元	H31. 4月 ～R元. 5月	・公民館点検・評価シートの各公民館による自己評価	
	6月	27日(木) 第1回 公民館運営審議会 ・講座の成果・計画等及び平成30年度公民館点検・評価の説明	
	7月	・点検評価に係る各委員からの質問受付(7/8まで) ・各公民館長による地元委員への各館の状況説明等(7/1～7/18) 29日(月) 第2回 公民館運営審議会 ・各委員からの評価・意見等の報告 ・委員による外部評価実施	
	8月	28日(水) 正副委員長による委員評価・意見等の確認	
	9月	上旬 公民館点検・評価シート(報告書)を作成し、公民館運営審議会委員及び社会教育委員へ配付 10日(火) 教育委員会連絡調整会議への実施報告 27日(金) 定例教育委員会への実施報告	
	11月	・令和元年度(平成30年度事業)公民館点検・評価シート(報告書)公表	

令和元年度（平成30年度事業） 公民館点検・評価一覧表

No.	公民館名	事業の評価項目						総括	
		公民館運営について		地域の学習拠点づくりについて		施設の利用について		総合評価	
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	自己評価	外部評価
1	栃木公民館	A	A	B	B	A	A	A	A
2	大宮公民館	B	B	A	A	B	B	B	B
3	皆川公民館	A	A	A	A	A	A	A	A
4	吹上公民館	B	B	A	A	A	A	B	B
5	寺尾公民館	B	B	A	A	A	A	B	A
6	国府公民館	B	B	A	A	A	A	B	B
7	大平公民館	A	A	B	B	A	A	B	B
8	大平西地区公民館					B	B	B	B
9	大平南地区公民館					B	B	B	B
10	大平東地区公民館					B	B	B	B
11	藤岡公民館	B	B	B	B	A	A	B	B
12	藤岡地区公民館					B	B	B	B
13	三鴨地区公民館					B	B	B	B
14	部屋地区公民館					B	B	B	B
15	赤麻地区公民館					B	B	B	B
16	都賀公民館	B	B	B	B	B	B	B	B
17	西方公民館	B	B	B	B	B	B	B	B
18	岩舟公民館	B	B	A	A	A	A	B	A
19	静和地区公民館					A	A	B	B
20	小野寺地区公民館					A	A	B	B

【評価】:AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
 C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 栃木公民館				
職員数		7名(内訳) 正規職員 6名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	15km ²	人口	40千人	
施設	開館年度	昭和46年		構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	
	延床面積	3,321.25m ²		敷地面積	13,142.82m ²	
	室名	会議室(■講堂兼体育室 ■実習室 ■講座室 ■児童室 ■大 ■中 ■小)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して栃木地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		旧市内にある公民館として、知名度が低く、利用する市民が限られている。また、休日の窓口対応(予約受付等)ができると更に良い。今後、生涯学習の拠点施設として、学校等との連携を図っていくことを期待したい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	1,009	1,067	1,091		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	508	679	648		
	計	1,517	1,746	1,739		
	前年度比	-5.2%	15.1%	-0.4%		
支出	活動費	674	610	495		
	維持管理費	6,752	7,093	7,015		
	営繕工事費	433	815	775	玄関ドア改修工事、1階軒下天井改修工事外2件	
	事務費等	7,450	3,227	2,821		
	計	15,309	11,745	11,106		
	前年度比	-42.4%	-23.3%	-5.4%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	30,947人	29,874人	26,434人	延べ人数
		利用件数	2,027件	2,032件	2,059件	
		利用日数	327日	320日	326日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	91.1%	89.1%	90.8%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	52日	56日	51日	
		参加者数	2,373人	2,534人	2,428人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数				
納税等取扱件数						

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を実施し、それを基に事業評価を行い、学級・講座内容に反映させている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者・地域住民との会話を通じて、要望等がある場合は出来るだけ応えるように努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		市ホームページを通じ、公民館の主な業務や施設利用情報を発信している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域団体等から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		公民館運営審議会委員や関係団体等の協力により講座等を行っている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		「笑いヨガ教室」や詐欺や事故の被害に遭わないための防犯講座等、健康生活や現代的課題を意識した講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	C		B		とちぎ未来アシストネット事業に係る事務連携を行うとともに、職場体験の受け入れ等に努めた。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		市関係課や家庭教育オピニオンリーダー会、蔵の街シルバー楽習塾関係団体等と連携協力して事業を実施している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		講座に多くの参加があり、学習成果は上がっていると思われるが、サークル立上げ等の活用や社会参加は少なかった。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		利用団体や講座受講者同士での親睦や連携は図れているが、団体等の相互間の連携はあまり行われなかった。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		公民館だよりや広報紙、市ホームページ等により、講座情報を提供するとともに、関係課と連携し学習相談に応じている。
項目評価	B	B	B	B		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設老朽化に伴う不満はみられるが、利用の予約申請受付を3か月前から可能とする等、ソフト面において利用者の利便性向上に努めた。
	利用者への対応は適切か	A		A		言葉遣い等に配慮し、利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		利用者へのあいさつや声掛け等を行い、話し易く住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者から苦情等があった場合は、対応可能な事案から速やかに対応するとともに、係内で情報共有している。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状態を見ながら、玄関ドア補修工事等の必要な修繕を行った。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		26 件	34 件	3 件	1 件	64 件
			40.6 %	53.1 %	4.7 %	1.6 %	93.7 %
	学級・講座受講者満足度		293 人	121 人	6 人	0 人	420 人
69.8 %			28.8 %	1.4 %	0.0 %	98.6 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	A	地域の生涯学習の拠点施設として、地域住民や利用者への親切丁寧な対応に配慮しながら、老朽化した施設を安全・安心にご利用いただくための維持管理を行った。学級・講座に関しては、関係団体等と連携協力して各事業を進めるとともに、市民全体を対象とした講座を関係課等と連携して開催することができた。施設の利用に関しては、利用の予約申請受付を3か月前から可能としたほか、柔軟な対応を心掛け、利用者の利便性向上に努めることができた。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	A	公民館だよりの発行や中学生の職場体験の受入れなど改善がみられる。施設の老朽化による利用の不便さは否めないが、常に清潔に維持管理され、職員の対応も心地よく、多数の団体、サークル等が利用し、地域住民の拠点としての役割を担っている。また、学習拠点として講座に多くの参加があり、学習成果も上がっている。サークル活動の立ち上げがなかったのが残念であるが、利用予約は3か月前から行い、利便性が向上した。学習の拠点づくりに関しては、健康や現代的課題を意識した講座を開催している。今後、館内に講座を受講した市民の作品等を展示できるスペースを設けたり、ボランティアの活用等を検討するとよい。				
改善事項		「公民館だよりの発行や市ホームページに公民館の予約方法や配置図、駐車台数等を掲載するなど内容の充実を図り、市民への積極的な情報発信に努めた。今後も、地域の生涯学習の拠点施設となるよう、学校や地域との連携を図りながら、公民館の基本的な機能とされる「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を大切に、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を推進していきたい。また、講座受講者の作品展示スペースの設置やボランティアの活用等についても検討してまいりたい。					
令和元年度 公民館運営方針		市民交流センターへの施設機能の移転を踏まえて、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して栃木地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大宮公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	11km ²	人口	17千人	
施設	開館年度	平成9年		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建	
	延床面積	1,176.63m ²		敷地面積	3,110.26m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室(1・2) ■調理室 ■その他(工作実習室、講座室)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて大宮地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		駐車場が狭隘で部屋の利用が制限されるなど、災害時における避難施設としての機能も含めて施設の機能を充実すること。とちぎ未来アシストネット事業を充実するとともに、地域住民の意見を反映した講座の開催や住民の交流など利用しやすい場の提供に努めること。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	719	685	614		
	講座等負担金					
	その他雑入	103	84	97		
	計	822	769	711		
	前年度比		-6.4%	-7.5%		
支出	活動費	86	88	69		
	維持管理費	6,122	5,854	4,254		
	営繕工事費	686	1,374	1,110	空調機修繕工事 外7件	
	事務費等	4,322	3,585	2,898		
	計	11,216	10,901	8,331		
	前年度比	22.6%	-2.8%	-23.6%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	24,172人	20,794人	22,629人	延べ人数
		利用件数	1,627件	1,927件	1,744件	
		利用日数	336日	327日	344日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	93.6%	91.1%	95.8%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	35日	35日	35日	
		参加者数	1,203人	1,259人	1,062人	延べ人数
	図書室	利用者数	/	/	/	
		貸出点数	/	/	/	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	3,782件	3,987件	3,734件	
		納税等取扱件数	3,623件	3,753件	3,462件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		受講者や受講を希望した方からの要望や提案に応えられるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		出張所業務を取り扱う関係で、学級・講座受講者や貸館利用の団体に限らず多くの来館者に館内で情報を提供している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民等から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		地域住民からなる関係団体より学級・講座の運営委員をお願いしている。
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	A		A		人権や消費者問題など出前講座を積極的に活用している。
	地域の学校などと連携しているか	B		B		学校行事を優先しながら、少年少女学級の募集やとちぎ未来アシストネット事業の事務的な面で学校と連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		市や県の出前講座や地元自治会の団体の方を講師に招くなど連携している。国府公民館と小学生対象の講座の二コマを共同で行った。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	A		A		アシストネット事業のボランティアなど特に女性学級の受講者の中で、多方面にわたり活躍している方がいる。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		少年少女学級や地区まつりにおいて、各種関係団体や地域住民との連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		公民館だよりの発行や自主活動団体の作品の展示、アシストネット事業や各講座の館内での案内を行っている。
項目評価	A	A	A	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		休日・夜間は職員が不在のため、前日までに予め鍵を預かることに不便を感じる方はいると思われる。
	利用者への対応は適切か	B		B		利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		ロビーの卓球台にラケット等を常備し、子供達だけでも気軽に入りやすい雰囲気をつくっている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		利用者からの要望等については、対応可能な事案から速やかに対応するとともに、係員内で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	B		B		ロビーの図書コーナーと展示コーナーの間にテーブルを設置し、相談・待合せの場所としても自由に利用できるようにしている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
項目評価	B	B	B	B		
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		10 件	9 件	0 件	0 件	19 件
			52.6 %	47.4 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		42 人	15 人	0 人	0 人	57 人
73.7 %			26.3 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	地域の生涯学習の拠点として、地域の関係団体等とも連携し、学級・講座では、郷土の歴史など地域に関する講座や健康づくりなど関心度の高い体験型の講座も開設した。また、老朽施設のため、空調機の修繕と、空調機及び照明の入替工事を行った。今後もより充実した取り組みに努めてまいりたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営審議会委員	B	地域内の新・旧住民の交流ができる活動をしており、利用者等に対する対応は適切である。地域の拠点施設として、現代的課題等を踏まえた講座が各世代において開設され工夫がみられる。若い利用者が来館しやすいよう、ロビーに卓球台を設置したり入りやすい雰囲気づくりをしており、多世代型公民館に変化しつつあるようであり、今後も継続してほしい。地域の連携については、少年少女学級の募集やアシストネット等で学校との連携を図り、出前講座や自治会の方を講師に招くなど連携を深めている。また、指定避難所の維持管理にも努めている。今後も公民館だよりやまちづくり協議会の活用を図り、住民への啓発に努めるとともに、災害時における避難施設としての機能を充実してほしい。夏休みの子供たちが様々な体験ができる企画も準備しており、公民館が地域の中心的な存在になれるといいと思う。				
改善事項		学級・講座やとちぎ未来アシストネット事業など学校や地域との連携を図り、地域の新・旧住民が気軽に交流できるような施設の雰囲気づくりを心がけ、まちづくりにつながる活動を支援するとともに、関係各課との連携を強化し、指定避難所として適正に機能するよう施設の長寿命化を図りながら維持管理に努めたい。					
令和元年度公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて大宮地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 皆川公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	27km ²	人口	4千人	
施設	開館年度	平成5年度		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建	
	延床面積	1,153.43m ²		敷地面積	13,268.00m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室 ■調理室 ■その他(資料室・ボランティアルーム)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して皆川地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域の拠点施設として引き続き地域の方々とともに活動する中で、とちぎ未来アシストネット事業をより充実したものとすべく、連携を強化していく。また、災害時避難施設としての機能の充実について、危機管理課等の助言を踏まえ、改善を図る。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	294	245	204		
	講座等負担金	25	21	35		
	その他雑入	112	89	108		
	計	431	355	347		
	前年度比	0.2%	-17.6%	-2.3%		
支出	活動費	81	80	77		
	維持管理費	5,206	6,013	4,880		
	営繕工事費	465	839	174	自動ドア修繕、浄化槽リレー交換	
	事務費等	492	309	300		
	計	6,244	7,241	5,431		
	前年度比	-4.0%	16.0%	-25.0%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	10,220人	11,541人	10,042人	延べ人数
		利用件数	588件	546件	425件	
		利用日数	281日	274日	250日	
		開館日数	360日	360日	360日	
		利用日率	78.1%	76.1%	69.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	31日	30日	27日	
		参加者数	712人	678人	585人	延べ人数
	図書室	利用者数	0人	1人	0人	
		貸出点数	0点	1点	点	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	1,509件	1,426件	1,288件	
		納税等取扱件数	1,873件	1,690件	1,673件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、その回答を参考に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		各種団体との協議や利用者との対話に努め、適切と思われる要望や意向を反映させるようにしている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議に参加して、情報の共有を図り、公民館関係の情報誌等を回覧し、知識の修得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりの発行、各種団体の行事等の回覧などを通じて公民館運営を地域住民に認知されるよう努めている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価等の結果を公民館運営審議会等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		各種団体の会議、打合せ等において、地域の課題を把握するよう努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		少年少女学級の一コマにアシストネット事業のボランティアの協力を得るなど、積極的に参加協力を得ている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		現実的課題としては、交通安全教室や、特殊詐欺対策の講座を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業、公民館の講座、地区内の各種行事等で、小中学校と連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	B		B		地域の各種団体の事務局を担っており、相互連携を図っている。市内各公民館(吹上・寺尾・栃木公民館)と連携して講座を開設している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		館内ホールに展示するほか、地区文化祭等の機会に学習成果の発表の場を設けている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		年度末に各種団体長会議を開催し、次年度の行事や地域の問題点について協議する機会を設けている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		館内にアシストネットや講座の案内・作品を掲示し、他施設のパンフレット等も幅広く設置するようにしている。
項目評価	A	A	A	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		A		各種団体の協力によりイベント実施の際に必要な備品が揃っている。地域外で定期的に利用する団体も複数あり、アンケートでの満足度は高い。
	利用者への対応は適切か	A		A		休日の貸館は事前の鍵の貸し出しにより対応しているが、休前日までに借りに来ない団体があれば電話等で連絡する等柔軟に対応している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		毎日多くの地域の方々が公民館に立ち寄り、打合せ等に利用している。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		苦情等があった場合は、職員間の情報共有に努め、迅速に対応するようにしている。
	図書室は利用されているか	B		B		館内の図書コーナーでは、講座の合間に閲覧している方がいる程度の利用となっている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物としての定期点検を実施するとともに、施設、設備の状況を見ながら必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		講座開催時に合わせて実施するなど、連携して適切に避難訓練を行っている。
項目評価	A	A	A	A		
<p>評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		6 件	1 件	0 件	0 件	7 件
			85.7 %	14.3 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		67 人	34 人	3 人	2 人	106 人
63.2 %			32.1 %	2.8 %	1.9 %	95.3 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	A	地域住民が気軽に立ち寄れる公民館を目指しており、地域内での問題点や、住民ニーズの把握に努めている。利用者アンケートでも、満足度は高い方であり、今後も地域ならではの行事や事業に協力していきたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	A	地域ならではの事業が行われている。各種団体の協力により、事業実施の際に必要な備品等が揃っている。地域学習については、現実的課題として交通安全教室や特殊詐欺対策等を取り上げた講座を実施している。また、アシストネット事業による地域住民や学校との連携が図られおり、更に、吹上、寺尾、栃木等の各公民館と合同開催の講座を企画するなど、他の地域とも連携を図っている。				
改善事項	地域の生涯学習拠点施設として、また、行政の身近な出先機関として、皆川地区の住民にとって、無くてはならない施設と認識されていると思うが、今後一層、地域ぐるみで交流を図れるような事業、地域の特色を活かせる講座等を計画し、期待に応えられるような公民館運営に努めたい。また、災害時における指定避難所施設と位置付けられている点では、危機管理課をはじめ関係各課との連携を強化し、適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。						
令和元年度 公民館運営方針	長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて皆川地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。						

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 吹上公民館				
職員数		6名(内訳) 正規職員 5名 臨時職員 1名(半日勤務)				
対象エリア		面積	18km ²	人口	10千人	
施設	開館年度	平成12年度		構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 瓦葺平屋建	
	延床面積	1,186.69m ²		敷地面積	3,712.00m ²	
	室名	会議室(■大■中■小) ■和室 ■調理室 ■その他(講座室、フリールーム)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて吹上地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域住民への情報発信やとちぎ未来アシストネット事業(学校、家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うために実施する事業)を充実するとともに、災害時における避難施設(指定避難所)としての機能を充実してほしい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	358	300	299		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	116	88	98		
	計	474	388	397		
	前年度比		-18.1%	2.3%		
支出	活動費	68	82	87		
	維持管理費	3,165	3,381	3,271		
	営繕工事費	169	298	244	男子トイレ水漏れ修繕工事 外3件	
	事務費等	2,664	2,602	2,588		
	計	6,066	6,364	6,190		
	前年度比		4.9%	-2.7%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	19,019人	17,268人	18,740人	延べ人数
		利用件数	975件	897件	880件	
		利用日数	300日	302日	299日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	83.6%	84.1%	83.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	32日	34日	32日	
		参加者数	946人	911人	860人	延べ人数
	図書室	利用者数	18人	18人	11人	
		貸出点数	59点	42点	69点	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	3,235件	3,865件	3,366件	
		納税等取扱件数	3,625件	3,513件	2,067件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を実施し、それを基に事業評価を行い、学級・講座内容に反映させている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者や地域住民の要望等には、出来るだけ応えられるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		公民館だよりを地区内全戸配布するほか、自治連の総会結果などは班内回覧で周知する。また、まち協ホームページに地域行事を掲載することで啓発を行っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		地域会議や自主防災組織推進協議会など独自の課題解決へ取り組んでいる。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		教養講座や高齢者教室は、まちづくり協議会など地域の団体の協力により開催している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		人権や健康、交通安全などの講座を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		地域の各種イベントやアシストネットにおいて、小・中学校の教育機関と協力、連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		地区内の各種団体とは連絡を密にして連携を図る一方、皆川公民館、寺尾公民館とも連携講座を実施している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		公民館内に作品を展示したり、文化祭など発表の機会を設けている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		各団体ごとの活動は活発だが、相互連携は十分とは言えない。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	A		A		アシストネット活動や文化団体の掲示コーナーを設ける一方、各種ポスター・チラシを館内ロビーに掲示して情報提供に努めている。
項目評価	A	A	A	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化や駐車台数の不足もあるが、平屋構造で位置的なロケーションも良く、地域外の住民や団体の利用も多い。
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者への気配りに配慮し、親切丁寧な対応を心掛け、適切な対応に努めている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		利用者、地域住民に対し、気配り・心配りを忘れず、気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの要望等については早急に対応するとともに、職員間で情報を共有して、今後の対応についても常に話し合っている。
	図書室は利用されているか	B		A		図書コーナーとしての利用以外に、相談スペースとして有効に活用している。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市建築物の定期点検を実施するとともに、毎日点検を行い、トイレの水漏れの修繕など必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回の訓練を実施しているとともに、地区全体の防災避難訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		10 件	2 件	0 件	0 件	12 件
			83.3 %	16.7 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		222 人	25 人	4 人	0 人	251 人
88.4 %			10.0 %	1.6 %	0.0 %	98.4 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	地域の生涯学習の拠点及び市行政の出張所として、地域の中心施設となっている。今後も管理運営に注意しながら、地域住民が気軽に立ち寄れる施設を心がけたい。また、各種団体や地域住民と協力して、地域の行事のみならず防災などの新たな課題にも取り組んでいきたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	地域住民との連携が取れている。地域の拠点として施設の維持管理がなされており、利用者等に対する対応等も適切であった。職員も地域と一体となって取り組んでいて、誰もが身近な施設としてとらえている。講座については、内容も充実しており、多くの参加者がある。生涯学習の拠点として、住民の各種団体等の意見を取り入れて多様な講座を開催するなど、地域住民より期待されている。地域の連携については、各種イベントやアシストネット等において、地域内の各種団体や学校との協力連携を密にしている。また、皆川公民館、寺尾公民館とも連携講座を実施している。今後も公民館運営について改善する点を明確にし、見直しを含めてアシストネット事業や避難施設(指定避難所)としての機能充実に努めてほしい。				
改善事項		防災のみならず、地域の生涯学習拠点施設として、今後も地域住民の期待に応えられるよう適切に管理運営を行う。また、とちぎ未来アシストネット事業においては、地域アシストネット本部として、学校・地域コーディネーターと更に連携を図っていきたい。施設の利用については、不良個所の修繕に努めていきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて吹上地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 寺尾公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	36km ²	人口	3千人	
施設	開館年度	平成10年		構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建	
	延床面積	1,110.31m ²		敷地面積	8,500.00m ²	
	室名	■大交流室 ■会議室 ■研修室 ■和室 ■調理室 ■その他(図書室、活動室)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して寺尾地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		とちぎ未来アシストネット事業を充実するとともに、災害時における避難施設(指定避難所)としての機能を充実してほしい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	53	61	71		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	62	40	48		
	計	115	101	119		
	前年度比	35.3%	-12.2%	17.8%		
支出	活動費	56	77	71		
	維持管理費	3,679	3,729	3,557		
	営繕工事費	722	137	729	自動ドア修繕外2件	
	事務費等	223	310	174		
	計	4,680	4,253	4,531		
	前年度比	19.9%	-9.1%	6.5%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	9,525人	9,198人	8,477人	延べ人数
		利用件数	377件	365件	316件	
		利用日数	221日	199日	183日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	61.6%	55.4%	51.0%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	27日	26日	23日	
		参加者数	880人	930人	838人	延べ人数
	図書室	利用者数	100人	100人	80人	
		貸出点数	4点	3点	12点	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	1,591件	1,423件	1,301件	
		納税等取扱件数	2,174件	2,053件	2,067件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者や地域住民の要望等には、出来るだけ応えられるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館関係者会議や館長会議への出席、公民館情報誌等の参考文献により、情報収集や自己研鑽に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		B		公民館だよりの地区内各戸配布や地域行事をまちづくり協議会ホームページへ掲載し、啓発を行っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		A		地域住民等から寄せられる情報・課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		関係団体から選出された地域住民が、各種講座の運営委員として企画運営に参加し、講座を開催している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		日赤健康生活支援講習や笑いヨガ等による健康生活を意識した講座及び人権に関する講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		地域の各種イベントやアシストネットにおいて、小・中学校の教育機関と協力、連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		市生涯学習課及び寿クラブ・女性会などの地域団体と連携しながら事業を実施している。また、皆川公民館と連携して女性学級を開催した。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		各種講座に多数の参加があり、学習効果は上がっている。講座で制作した作品を地区文化祭に展示している。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		学習グループの設立までには至っていないが、女性会などの地域団体内で、講座受講者同士の親睦を図っている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		アシストネット活動報告や各種ポスター・チラシ等を館内ロビーに掲示し、情報提供に努めている。
項目評価	B	B	A	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		施設の利用で混雑することはなく、利用予約はスムーズである。また、平屋、広い駐車スペース、テーブル等の設備も整い利用しやすい。
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者に対して積極的な声かけなど、話しやすい雰囲気づくりや気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		利用者、地域住民に対し、気配り・心配りを忘れず、気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの苦情等については、対応可能な事案から対応するとともに、係員内で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	A		B		蔵書数が少なく読書利用者は少ないが、クール及びウォームシェアスポットとして常時開放し、利用を促進している。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、不良個所の補修に努めている。平成30年度は自動ドア等の修理、空調・照明設備を更新した。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回の消防訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		14 件	5 件	0 件	0 件	19 件
			73.7 %	26.3 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		84 人	19 人	1 人	0 人	104 人
80.8 %			18.3 %	0.9 %	0.0 %	99.1 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	地域の生涯学習の拠点及び市行政の支所として、地域の中心施設となっている。各種団体と協力し地域の行事を実施するとともに、地域住民が気軽に立ち寄れるよう心がけている。今後も、施設の管理運営に注意しながら利用者の意見を生かした公民館運営を行っていく。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	A	地域住民との連携が取れており、公民館だよりの各戸配布、地域行事をまちづくり協議会ホームページへ掲載し啓発を行っている。地域の学習拠点として、また、寺尾支所として地域住民に気軽に立ち寄れるよう常に心がけており、利用者アンケートでも満足となっている。利用者や地域住民に対し、気配り、心配りがされており、職員の利用者に対する対応も明るくてとても良いが、利用者も減るという現実もあるので、他の地域との連携が必要である。地域学習については、関係団体から選出された地域住民が各種講座の運営委員として企画運営に参加し、講座を開催している。今後も公民館運営について改善する点を明確にして取り組んでいくと良い。				
改善事項		地域の課題を把握し、要望等に応えられる公民館運営に努めるとともに、改善すべき点は何かを明確にして取り組んでいく。また、関係機関・関係団体と連携協力しながら学習の拠点づくりを進めていく。さらに、他の地域・団体等との連携を進め公民館利用者の拡大を図っていく。なお、公民館施設については点検を行い、不良個所の修繕に努めていきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して寺尾地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 国府公民館				
職員数		6名(内訳) 正規職員 5名 臨時職員 1名(半日勤務)				
対象エリア		面積	15km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	平成15年		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建	
	延床面積	1,199.64m ²		敷地面積	6,702m ²	
	室名	大交流室、中会議室、小会議室、講座室、調理実習室、和室1、和室2				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して国府地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		とちぎ未来アシストネット事業(学校、家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うために実施する事業)を更に充実するとともに、災害時における避難施設(指定避難所)としての機能を充実してほしい。また、地域住民の声が反映され、より広い年代層の方々に使ってもらえる工夫や地域の学習ニーズを捉えた講座の開催、その学んだ成果を生かす方策、ボランティア・自主グループの活動を地域社会に情報発信していく等の努力をしてほしい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	547	600	651		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	209	331	331		
	計	756	931	982		
	前年度比		23.1%	5.5%		
支出	活動費	84	71	45		
	維持管理費	3,537	3,913	4,121		
	営繕工事費	679	59	180	誘導灯取替え工事、女子トイレ給水管詰まり工事	
	事務費等	448	480	537		
	計	4,748	4,519	4,883		
	前年度比		-4.8%	8.1%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	26,763人	21,225人	23,972人	延べ人数
		利用件数	1,194件	1,104件	1,220件	
		利用日数	313日	319日	328日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	87.2%	88.9%	91.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	29日	22日	19日	
		参加者数	735人	437人	591人	延べ人数
	図書室	利用者数	1人	0人	0人	
		貸出点数	11点	点	点	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	3,276件	3,272件	2,859件	
納税等取扱件数		3,502件	3,291件	3,184件		

事業の評価項目		自己 評価	外部 評価	自己 評価	外部 評価	自己評価の主な理由
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者や地域住民からの要望に対し、適切と思われるものに対しては出来るだけ意見を反映させるようにしている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		公民館だよりを発行し、地区内で班内回覧をすることで、住民の認知を図っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		まちづくり協議会や地域会議等で様々な課題について話し合い、現状における課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		地域住民による国府公民館サポーター倶楽部「よっしゃあ！」の方々が、少年少女学級全6回のうち5回講師を引き受けて下さるなど、主体的に参加いただいている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		高齢者学級の中で、身体的機能の衰えを防ぐため、体操や輪投げなどの運動を取り入れたり、脳卒中の予防法についての講座も行った。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		ふるさとまつりや国庁まつり等のイベントやアシストネットにおいて、連携・協力をしている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		自治会連合会をはじめ地域の各種団体や学校・PTA等と連携し事業を実施している他、大宮公民館と小学生対象の講座の一コマを共同で行った。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		女性学級の受講者がふるさとまつりに自主的に作品を出品した。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		少年少女学級と高齢者学級の連携講座で卓球をするなど、相互連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	A		A		館内にアシストネットや講座の案内、文化団体の作品を掲示し、他施設のパンフレット等も幅広く置いている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		概ね高評価であるがネットでも使用申請が完結出来ると良いとのご意見があった(現在は仮予約のみ)
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		地域住民と職員の間が大変近く、窓口に気軽に立ち寄る方が多い。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの要望等については迅速に対応すると共に、職員間で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	A		A		打ち合わせや昼食場所など気軽に利用されているほか、数は少ないが本も貸し出されている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物定期点検の他、職員による日常的な点検も行っているが、予算措置が叶わず不具合が解消されていないものもある。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を行っている。
	項目評価	A	A	A	A	
<p>評価：AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度	33 件	10 件	0 件	0 件	43 件
		76.7 %	23.3 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度	294 人	141 人	13 人	1 人	449 人
65.5 %		31.4 %	2.9 %	0.2 %	96.9 %	
総括	自己評価	総合評価 評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B 施設の清潔さ・利用し易さ、職員の対応、総合的な満足度等、おしなべて高評価をいただいているので、今後もこの評価を損ねることのないよう努力しつつ、今回の自己評価で低かった点に留意し、向上を図って行きたい。特に「学習成果の活用、社会参加が図られているか」という評価項目があるが、公民館講座を受講するのみでなく、学んだことを他者に教える等、学習成果を活かすことが実現できるよう、方策を考えていきたい。				
	外部評価	総合評価 評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B 地域の拠点として各種講座に取組み、更には協議会や団体の行事等に対し連携を密に対応している。施設は適切に維持管理がされており、団体やサークルの打ち合わせ等で気軽に利用できる。災害時の避難所でもあるので、日頃よりその役割や住民側のニーズ、初動体制等につき地域住民と検討することが必須と思われる。学習講座も多様に用意されていて、受講者の選択肢が増えて良い。地域学習については、身体機能の衰えを防ぐための体操や輪投げなどの運動を取り入れたり、脳卒中の予防法についての講座等を実施している。また、ふるさと祭りや国庁まつり等は地域や学校等と連携協力して行っている。今後も公民館運営について改善する点を明確にし、各種団体、ボランティア活動の活用、災害等の避難所としての危機管理や訓練など、継続して地域住民との連携に努めてほしい。				
改善事項	現代的課題(少子高齢化、情報化、国際化、環境問題等)やそれに関連する地域における課題を踏まえつつ、今後も市民の学習ニーズに対応した講座を開催するとともに、受講するのみでなく、自主グループとなり活動を続けていくこと、更には、学んだ成果を地域で活かすことが出来るような機会を提供したり、紹介したりすることしていきたい。なお、災害発生時においては市の災害警戒本部からの情報に注意し、迅速に避難所開設準備に取り掛かれるよう心掛けたい。					
令和元年度 公民館運営方針	長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて国府地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平公民館			
職員数		5名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名 臨時職員 1名			
対象エリア		面積	39.8km ²	人口	31千人
施設	開館年度	昭和49年		構造	鉄筋コンクリート造2階建
	延床面積	1,973.0m ²		敷地面積	7,180.0m ²
	室名	会議室(■第1. 2. 3. 4)和室(■第1. 2. 3. 4)■視聴覚室■調理室			
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		とちぎ未来アシストネット事業(学校、家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うために実施する事業)を充実するとともに、災害時における避難施設(指定避難所)としての機能を充実してほしい。講座関係では、受講者全員の満足が得られるよう努めてもらいたい。			
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考
収入	施設使用料	483	552	516	
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	738	727	669	
	計	1,221	1,279	1,185	
	前年度比	12.1%	4.8%	-7.3%	
支出	活動費	593	585	597	
	維持管理費	15,187	16,133	14,368	
	営繕工事費	503	15,981	335	会議室空調修繕工事 外9件
	事務費等	2,109	5,188	1,931	
	計	18,392	37,887	17,231	
	前年度比	-6.5%	205.9%	-54.5%	
指標名		28年度	29年度	30年度	備考
利用状況	利用者数	30,306人	33,825人	31,453人	延べ人数
	利用件数	1,772件	2,111件	2,156件	
	利用日数	346日	352日	353日	
	開館日数	359日	359日	359日	
	利用日率	96.4%	98.1%	98.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数	94日	74日	68日	
	参加者数	1,866人	1,584人	1,797人	延べ人数
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
	納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針等を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	C		A		学級・講座終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		公民館運営審議委員からの意見聴取やアンケートを実施してニーズを把握している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議の結果を報告し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		ロビーに掲示版を設置し、利用者や講座受講者等に対して情報発信をしている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		各種イベントにおいて関係団体から組織される実行委員会等により企画運営に参画している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		アンケート等により課題を洗い出しながら高齢者等向けの健康生活につながる「ライフ・アップ講座」等を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業や子ども会育成会事業において情報の共有を図って運営にあたっている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		各種事業を展開する中で、警察機関やPTA、民生児童委員、自治会等様々な機関団体と連携している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		講座の受講生は多く、学習の成果は得られているが、すぐには社会参加まで結びついていない。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		関係団体や地域住民との連携は、イベント等において図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		展示コーナーを設置して、各公民館との連携し情報収集に努めながら、住民サービスの向上を図っている。
項目評価	B	B	B	B		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		アンケートでは90%以上の方が満足されているが、施設の老朽化によりハード面で少し不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけているが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回避難訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		5 件	17 件	1 件	0 件	23 件
			21.8 %	73.9 %	4.3 %	0.0 %	95.7 %
	学級・講座受講者満足度		246 人	54 人	6 人	0 人	306 人
80.4 %			17.6 %	2.0 %	0 %	98.0 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指して、前期・後期の講座を開設した。また、公民館事業を通して地域住民の交流及び連携が図れるように努めた。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	地域の拠点として重要な施設となっており、講座内容についても満足度が高い。合併前の旧町から続いている講座が多いと思うが、これだけ多くの講座を開催するには現行の職員ではご苦労されていると思う。講座は前期、後期で企画されバランスよく充実した生涯学習が短期間に集中して受講でき、大変好評で活性化している。地域の学習に関しては、アンケート調査等により課題を洗い出しながら、高齢者向けの健康生活につながる講座を実施しており、アンケートでは98%が満足していてすばらしい。また、災害時の避難施設についても各課と連携し住民の安全を図っている。施設、設備は老朽化しており改善が望まれる。今後は、地域の小中学校との連携を充実していくと良い。また、合併後10年、他公民館とのバランスを考え、市全体の1/3程度を占める講座開設事業費などを検討していく必要がある。				
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館及び小中学校との連携を図り講座等の学習機会の充実を図っていききたい。市全体の1/3程度を占める講座開設事業費については、町子連に対する委託事業が含まれているので、今後精査して事業内容を検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難場所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。					
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平西地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	14.9km ²	人口	12千人	
施設	開館年度	昭和58年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	678.93m ²		敷地面積	1,622.86m ²	
	室名	会議室(■第1.2) ■和室 ■児童室 ■調理実習室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して大平西地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設の老朽化は、清潔感・活気という点では好感度が低いが、現時点ではやむを得ないのだろうか。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	107	131	141		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	69	32	37		
	計	176	163	178		
	前年度比	-5.4%	-7.4%	9.2%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	864	796	806		
	営繕工事費	0	0	0		
	事務費等	0	0	0		
	計	864	796	806		
	前年度比	-36.1%	-7.9%	1.3%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用 状況	利用者数	2,948人	5,262人	4,517人	延べ人数
		利用件数	349件	491件	416件	
		利用日数	225日	240日	245日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	62.7%	66.9%	68.2%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数	件	件	件	
納税等取扱件数		件	件	件		

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけていが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
			－%	－%	－%	－%	－%
	学級・講座受講者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
－%			－%	－%	－%	－%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設については、誰もがいつでも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めており、災害時の指定避難所として維持管理をしている。しかし、無人であるため、環境美化や講座対応に課題が多く、さらに施設、設備が老朽化しており改善が望まれる。				
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていききたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平西地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平南地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	12.9km ²	人口	13千人	
施設	開館年度	昭和60年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	669.8m ²		敷地面積	1,038.19m ²	
	室名	会議室(■第1.2) ■児童室 ■和室 ■作業室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して大平南地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設の老朽化は、清潔感・活気という点では好感度が低いが、現時点ではやむを得ないのだろうか。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	115	122	118		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	115	122	118		
	前年度比	-3.4%	6.1%	-3.3%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	381	433	464		
	営繕工事費	0	0	51	会議室照明器具修繕工事 外2件	
	事務費等	0	0	0		
	計	381	433	515		
	前年度比	-1.6%	13.6%	18.9%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用 状況	利用者数	2,672人	3,905人	4,322人	延べ人数
		利用件数	276件	365件	451件	
		利用日数	210日	240日	264日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	58.5%	66.9%	73.5%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけていが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
			－%	－%	－%	－%	－%
	学級・講座受講者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
－%			－%	－%	－%	－%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設は老朽化による不満がみられるが、親切丁寧な対応に心掛けている。また、災害時の指定避難所として維持管理に努めている。しかし、無人であるため、環境美化や講座対応に課題が多く、さらに施設、設備が老朽化しており改善が望まれる。				
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていきたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していきたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平南地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平東地区公民館				
職員数		(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	12km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和56年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	625.99 m ²		敷地面積	1,744.8 m ²	
	室名	会議室(■第1.2)■和室■農産加工				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して大平東地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設の老朽化は、清潔感・活気という点では好感度が低いですが、現時点ではやむを得ないのだろうか。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	116	105	97		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	25	15	15		
	計	141	120	112		
	前年度比	-12%	-14.9%	-6.7%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	1,031	992	589		
	営繕工事費	0	0	143	浄化槽配管修繕工事 外2件	
	事務費等	0	0	0		
	計	1,031	992	732		
	前年度比	13.2%	-3.8%	-26.2%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	1,876人	2,120人	1,619人	延べ人数
		利用件数	222件	248件	179件	
		利用日数	183日	150日	111日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	51.0%	41.8%	30.9%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	/	/	/	
		参加者数	/	/	/	
	図書室	利用者数	/	/	/	
		貸出点数	/	/	/	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
納税等取扱件数		件	件	件		

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけていが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
			－%	－%	－%	－%	－%
	学級・講座受講者満足度		－人	－人	－人	－人	－人
－%			－%	－%	－%	－%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設の整備点検については、早期発見、早期対応に心掛けている。また、災害時の指定避難所として維持管理に努めている。しかし、無人であるため、環境美化や講座対応に課題が多く、さらに施設、設備が老朽化しており改善が望まれる。				
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていききたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平東地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 藤岡公民館				
職員数		4名 (内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	60km ²	人口	16千人	
施設	開館年度	昭和48年		構造	鉄筋コンクリート造3階建	
	延床面積	2,309.40m ²		敷地面積	20,463.53m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室 ■調理室 ■その他(多目的室)				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		公民館利用団体の減少は、今後ますます増えてくるので、講座の工夫が必要である。また、とちぎ未来アシストネット事業(学校、家庭及び地域住民の連携並びに協力により、地域ぐるみで子育てを行うために実施する事業)も更に充実してほしい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	399	411	365		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	452	291	541		
	計	851	702	906		
	前年度比		-17.5%	29.1%		
支出	活動費	253	374	373		
	維持管理費	10,815	12,044	9,385		
	営繕工事費	509	1,263	1,193	2階男子トイレ配管修繕工事他4件	
	事務費等	2,707	2,451	2,645		
	計	14,284	16,132	13,596		
	前年度比		12.9%	-15.7%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	22,287人	23,399人	20,715人	延べ人数
		利用件数	2,005件	1,939件	1,699件	
		利用日数	335日	335日	326日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	93.3%	93.3%	90.8%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	50日	78日	60日	
		参加者数	1,291人	1,387人	913人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	業務等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針等を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座等終了後にアンケート調査を実施し、それに基づく事業評価を行った。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		各地域から選出された公民館運営審議会委員による審議等を踏まえ、対応している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館長会議結果報告や県公連会議等の資料などの情報を全職員で共有し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりを発行し、藤岡地域全戸に配布し各種情報の周知に努めている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題等を把握し、その解決に努力している。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		講座開設にあたり、公民館利用団体や文化団体の協力を得ている。各種イベント等へ利用団体、関係団体を積極的に参加してもらっている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		利用者アンケートの結果や要望により「ふるさと再発見講座」を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業活用の他、夏休みに学校と連携し「カヌー体験講座」や「子どもの社会科見学」など子ども講座を開設している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		講座開設にあたり、「人権講座」や「親子でクリスマス」、「手打ちそば講座」など関係機関の出前講座や文化団体の協力を得ている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		講座終了後に公民館ロビーや文化祭で成果作品を展示したり、講座参加者が自主サークルとして継続活動する事で、講座参加者・施設利用者の交流の場となっている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		文化団体や公民館利用団体・家庭教育オピニオンリーダーなどの社会教育団体と相互交流及び連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		広報とちぎに記事の掲載、公民館だよりや各種チラシ等を発行し情報提供に努めている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化、バリアフリー化がなされていないため、利用しづらい部分もあるが、努力をして市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、親切・丁寧な対応に心がけ利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		ロビーへチラシ等各種情報を複数箇所に配置し、ソファ等に着座しゆったり寛げる空間づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検を実施すると共に、職員による施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回総合訓練を実施している。
	項目評価	A	A	A	A	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度	10 件	18 件	6 件	1 件	35 件
		28.6 %	51.4 %	17.1 %	2.9 %	80.0 %
	学級・講座受講者満足度	142 人	33 人	2 人	0 人	177 人
80.2 %		18.7 %	1.1 %	0.0 %	98.9 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
	職員	B	実施した講座及びアンケートをもとに柔軟に新規講座を開催することができ、講座から自主サークルへの移行ができた。また利用団体と合同で講座を行うことができた。			
	外部評価	総合評価	評価に関する意見			
	公民館運営審議会委員	B	講座の工夫がみられる。講座内容は年々充実した内容となっており、利用状況も良好である。地域との連携については、アシストネット事業の他、夏休みに学校と連携し「カヌー」の体験講座や社会科見学など子どもに関する講座を開催している。また、講座開設に当たり、出前講座や文化団体の協力を得ている。			
改善事項	公民館利用団体が減少しているので、講座から自主サークル活動へ移行させて公民館活動を活性化させるように改善していきたい。施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮して、不具合が発生した際は、できるだけ早急に修繕するよう対応していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針	総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 藤岡地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	18km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和38年度		構造	木造・一部鉄骨造2階建	
	延床面積	625.02m ²		敷地面積	993.60m ²	
	室名	■講座室 ■研修室 ■和室 ■ホール				
平30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して藤岡地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		特になし。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	12	15	14		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	12	15	14		
	前年度比		25.0%	-6.7%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	890	969	1,257		
	営繕工事費	0	0	0		
	事務費等	82	87	79		
	計	972	1,056	1,336		
	前年度比		8.6%	26.5%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	478人	502人	312人	延べ人数
		利用件数	52件	57件	49件	
		利用日数	52日	57日	50日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	14.5%	15.9%	13.9%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	C		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
			- %	- %	- %	- %	- %
	総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員		B	老朽化が著しいが、気軽に利用できるようにしている。利用者数は減少傾向にある。				
外部評価		総合評価	評価に関する意見				
公民館運営 審議会委員		B	施設も古く、一部の団体のみ利用となるのは仕方がない。無人でも市民利用の利便性を考慮して施設を貸出し、職員による日常点検と専門者に点検等を委託し安心である。施設利用に関する苦情等については、内容を文書にし共有化を図っている。また、地域の学習の拠点として、誰もが気軽に活動できることを目指して取り組んでいる。				
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際は、できるだけ早急に修繕するよう努めていきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 三鴨地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	13km ²	人口	3千人	
施設	開館年度	昭和52年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	延床面積	514.00m ²		敷地面積	2,473.50m ²	
	室名	会議室(■小) ■研修室 ■講座室 ■和室 ■調理室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して三鴨地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		特になし。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	37	33	30		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	37	33	30		
	前年度比		-10.8%	-9.1%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	1,388	1,107	1,543		
	営繕工事費	1,499	0	237	電灯修繕工事他1件	
	事務費等	108	61	75		
	計	2,995	1,168	1,855		
	前年度比		-61.0%	58.8%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	1,882人	2,280人	2,352人	延べ人数
		利用件数	120件	123件	110件	
		利用日数	81日	73日	99日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	22.6%	20.3%	27.6%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	/	/	1日	
		参加者数	/	/	5人	
	図書室	利用者数	/	/	/	
		貸出点数	/	/	/	
	出張所業務	住民票等取扱件数	/	/	/	
		納税取扱	/	/	/	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	C		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設も古く、一部の団体のみ利用となるのは仕方がない。無人でも市民利用の利便性を考慮して施設を貸出し、職員による日常点検と専門者に点検等を委託し安心である。また、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指して、住民との連携を図りたい。				
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。					
令和元 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して三鴨地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 部屋地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	18km ²	人口	3千人	
施設	開館年度	昭和53年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	延床面積	624.75m ²		敷地面積	3,128.36m ²	
	室名	■研修室 ■和室 ■調理室 ■コミュニティホール				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して部屋地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		特になし。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	26	26	26		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	26	26	26		
	前年度比		0.0%	0.0%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	864	918	1,165		
	営繕工事費	0	993	0		
	事務費等	151	106	110		
	計	1,015	2,017	1,275		
	前年度比		98.7%	-36.8%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	2,024人	1,925人	2,085人	延べ人数
		利用件数	160件	142件	123件	
		利用日数	124日	102日	106日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	34.5%	28.4%	29.5%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数			3日	
		参加者数			20人	
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民利便を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	C		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設も古く、一部の団体のみ利用となるのは仕方がない。無人でも市民利用の利便性を考慮して施設を貸出し、職員による日常点検と専門者に点検等を委託し安心である。公民館利用の団体が減少傾向にあるので、活動を活発化するよう工夫してほしい。また、地域住民の交流及び連携を深めるようにしてほしい。				
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して部屋地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 赤麻地区公民館				
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	11km ²	人口	4千人	
施設	開館年度	昭和54年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	延床面積	501.50m ²		敷地面積	2,206.94m ²	
	室名	■研修室 ■講座室 ■和室 ■調理室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して赤麻地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		特になし。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	16	18	19		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	16	18	19		
	前年度比		12.5%	5.6%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	1,473	1,397	1,143		
	営繕工事費	2,009	151	99	トイレ修繕工事	
	事務費等	127	110	129		
	計	3,609	1,658	1,371		
	前年度比		-54.1%	-17.3%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	753人	2,963人	1,913人	延べ人数
		利用件数	97件	133件	129件	
		利用日数	68日	102日	61日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	18.9%	28.4%	17.0%	公民館利用日数/公民館開館日数/100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	業務等	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	C		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	施設も古く、一部の団体のみ利用となるのは仕方がない。無人でも市民利用の利便性を考慮して施設を貸出し、職員による日常点検と専門者に点検等を委託し安心である。また、施設の利用についても、苦情対応を適切に行い、利用者が気持ちよく使えるようにしている。				
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して赤麻地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 都賀公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	31Km ²	人口	13千人	
施設	開館年度	昭和48年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	1,244.04m ²		敷地面積	4,046.63m ²	
	室名	■事務室 ■調理室 ■研修室1.2 ■会議室1.2 ■和室1.2 ■講堂 ■ロビー				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して都賀地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設の老朽化が進み仕方がないことだが、特にトイレのスペースが狭く洋式トイレの設置も少ない状況である。都賀公民館は今後施設再編により廃止が決定されているので、必要最低限の修繕を行いつつ、利用者に不便をかけないよう努力していただきたい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	407	383	385		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	348	345	298		
	計	755	728	683		
	前年度比	-3.8%	-3.6%	-6.2%		
支出	活動費	661	647	587		
	維持管理費	7,578	7,625	7,669		
	営繕工事費	578	4,846	1,362	屋根防水修繕 外2件	
	事務費等	2,249	1,695	1,359		
	計	11,066	14,813	10,977		
	前年度比	-6.0%	33.9%	-25.9%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	21,867人	18,278人	18,442人	延べ人数
		利用件数	1,238件	1,138件	1,122件	
		利用日数	334日	335日	332日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	93.0%	93.3%	92.5%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	38日	34日	34日	
		参加者数	1,813人	1,063人	762人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
納税等取扱件数		件	件	件		

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者、地域住民との会話の機会を持ち、要望や提案にできるだけ応えられるように努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館長会議結果報告や県公連会議等でいただいた資料など、常に最新情報を全職員で情報を共有している。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりを都賀地区全戸に配布。公民館ロビー及びホームページによる情報発信。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		都賀地区自公連会議を開催し、自治会公民館活動の課題解決のためのアドバイスを実施している。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		盆踊り大会や文化祭等、事業実施に向けた実行委員会を組織し、地域住民、地域団体が中心となり運営している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		核家族化が進み、お年寄りと小学生との世代間交流の「地域ふれあい事業」を、学校の昼休みを利用してのスポーツレクリエーション活動として行っている。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業を活用し、中学生に公民館イベントなどのボランティア活動に協力いただいている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		「盆踊り大会」では、地元の各種団体、中学生ボランティア、スポーツ振興課の協力のもと事業を進めている。また、西方公民館と連携協力し、生涯学習合同講座を毎年開催している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		好評だった公民館講座については、受講された参加者有志で、講座終了後も継続活動しており、参加者のコミュニケーションの場にもなっている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		盆踊り大会、文化祭など事業をとおして、地域住民、地域団体が協働活動をすることにより、相互連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		地元住民・団体はじめ、全ての来館いただく方に対し、満足していただけるよう最新情報の収集に努めている。
項目評価	B	B	B	B		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		PC・夜間の施設予約はできるが、本申請は平日に手続きが必要。また、施設が古く、バリアフリー化がなされていないため障がいを持っている方の使用が難しい。
	利用者への対応は適切か	B		B		親切丁寧な接遇を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		来館いただく全ての方に対し、積極的にあいさつをし、気軽に話ができる公民館を目指し努力している。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		迅速に対応できるものについては、その日のうちに問題を解決し、速やかに対応した。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		75 件	53 件	5 件	0 件	133 件
			56.4 %	39.8 %	3.8 %	0.0 %	96.2 %
	学級・講座受講者満足度		74 人	15 人	0 人	0 人	89 人
83.1 %			16.9 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	公民館事業を進めるにあたり、アシストネット事業と連携した、学校生徒のボランティア、地域団体、自治会公民館長等の協力により、官民が一体となり公民館事業を協働実施することができた。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営審議会委員	B	親子で学習する講座があり、若者の公民館活動へのきっかけになる。職員の対応は、親切丁寧で素晴らしい。地域住民や団体が中心となり各事業を運営し、お年寄りと小学生の世代交流の地域ふれあい事業等を行っている。関係団体との連携協力については、地元の各種団体、中学生ボランティア、スポーツ振興課の協力のもと事業を進めている。また、西方公民館と連携協力し、生涯学習合同講座を毎年開催している。今後、新しい複合施設完成までの間は、公民館の必要最低限の維持管理や公民館敷地内の環境美化に努めていただきたい。また、学習講座については、趣味やタイムリーな話題を題材にした、単発講座や期間の短い(2回程度の)講座を開催してはどうか。				
改善事項	公民館事業を実施するにあたり、各種団体と連携協力しながら事業展開しているが、団体自らが活動する中で、サポートが必要な団体が多少あることから、自主運営できるよう活動を支援していきたい。また、施設は老朽化し修繕箇所が多々あるが、施設再編により公民館が解体されることから、大規模な修繕については見送る方向であるため、利用者が安全で安心して施設利用できるよう、修繕すべきところは素早く修繕していきたい。						
令和元年度公民館運営方針	総合支所との複合化を踏まえて、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して都賀地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。						

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 西方公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	32km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和49年		構造	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	
	延床面積	952.74m ²		敷地面積	13,302.94m ²	
	室名	会議室(■1階■2階大■2階小) 多目的室(■1階■2階) ■研修室 ■和室 ■調理室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して西方地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		講座は、年々新企画がありサークル活動へ発展されていることに好感もてるが、参加者が一部の方にならないよう情報の発信をされたい。地域と学校や各団体との連携を深めるアシストネット事業をさらに充実して欲しい。西方公民館は、公民館の講堂を図書館とした複合施設であるので、貸館や多人数の事業への工夫が必要である。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	98	109	134		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	143	161	163		
	計	241	270	297		
	前年度比	18.7%	12.0%	10.0%		
支出	活動費	326	302	321		
	維持管理費	1,712	2,591	2,114		
	営繕工事費	371	2,281	315	非常口誘導灯交換工事外3件	
	事務費等	3,564	4,480	624		
	計	5,973	9,654	3,374		
	前年度比	23.1%	61.6%	-65.1%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	7,203人	7,202人	8,158人	延べ人数
		利用件数	536件	629件	651件	
		利用日数	265日	286日	281日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	73.8%	79.7%	78.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	51日	80日	49日	
		参加者数	4,322人	4,465人	631人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
納税等取扱件数		件	件	件		

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		公民館利用者、西方文化協会等の文化団体や社会教育団体等の意向を反映できるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館担当者会議・研修会への参加を確保する他、各種職員研修会の情報を提供している。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		市ホームページ、地域内チラシ、公民館ホール掲示等により、公民館の各種情報を発信している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		各振興計画の他、公民館会議及び利用団体や地域の方々から寄せられる情報から地域課題把握に努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		子ども夏まつりや文化祭等公民館イベントを実行委員会にして、企画から運営まで参画していただいた。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		「介護予防」や「脳足活」、「笑いヨガ」の他、地域の魅力再発見として、「西方城址再探訪」等の講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	B		A		アシストネット事業の他、子ども夏まつりや文化祭等公民館イベントにおいて、連携・協力していただいた。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		イベントへ警察・消防・自衛隊・学校・PTA・育成会・社協・認定実働組織等連携協力いただいた。また、都賀公民館と連携協力し、生涯学習合同講座を毎年開催している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		アシストネット事業で地域から学んだオカリナやダンスを夏まつりや文化祭で披露。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		文化協会や文化祭及び「家庭教育オピニオンリーダー」との子育て連携講座等、相互連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		館内にアシストネット事業や講座の案内、文化団体の作品を掲示する他、各地域パンフレット等を幅広く置いている。
項目評価	B	B	B	B		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		定期利用者の申請を簡素化できないかとの意見がある。また、施設設備の老朽化、バリアフリー化もされていない。
	利用者への対応は適切か	B		B		利用者の目線で親切丁寧な対応を心掛けた。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		玄関ホールにテーブルと椅子を設置し、ちらしや情報誌を置くなど、誰でもくつろげる空間づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		可能な限り迅速な対応に心がけている。必要に応じて電話口頭記録簿を作成する等、職員間で情報を共有した。
	図書室は利用されているか	—		—		H24.4から公民館図書室を多目的室に変更。講堂を図書館西方館として開館した。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物定期点検・建築課施設安全点検を実施。非常口誘導灯交換工事等を行った。
	避難訓練等を行っているか	A		A		西方総合支所・図書館西方館・西方公民館の複合施設であるため、連携して年2回消防計画に基づき実施している。
項目評価	B	B	B	B		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		14 件	10 件	0 件	0 件	24 件
			58.3 %	41.7 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		179 人	45 人	2 人	2 人	228 人
78.5 %			19.7 %	0.9 %	0.9 %	98.2 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	公民館運営については、ホームページやチラシなどで地域の方へ各種公民館情報の発信ができた。地域の学習拠点づくりについては、公民館関係イベントにおいて関係機関団体との連携協力による企画運営ができた。施設の利用については、施設・設備点検の他、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めた。アンケート結果では、各種講座に満足されている方が多く、施設の利用についても満足の多い結果であった。地域の生涯学習の拠点施設として役割を果せるよう今後一層努めたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	地域への情報発信ができたことはとても良い。子ども夏祭りや文化祭等の公民館イベントを実行委員会が運営し、アシストネット事業でも地域から学んだことを夏祭りや文化祭で披露している。学習については、アシストネット、子ども夏祭り、文化祭等、地域の関係機関と連携協力による企画運営ができています。また、生活・現代的課題や地域課題に関する講座として介護予防、笑いヨガ、脳足活のほか、公開講座として西方城址探訪等を開催した。				
改善事項	引き続き、地域の方の求める講座やイベントを企画し、情報を発信したい。イベント実施にあたっては、関係機関団体との連携協力を図りながら運営すると共に、団体自らが自主運営できるよう支援していきたい。子ども夏祭りにおいては、熱中症や急な雷雨等への安全対策や実施体制など、事業を見直し工夫していきたい。また、施設は老朽化が進んでいるため安全点検を怠らず利用しやすい公民館に努めたい。						
令和元年度 公民館運営方針	総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して西方地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。						

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 岩舟公民館			
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名			
対象エリア		面積	46.8km ²	人口	17千人
施設	開館年度	昭和45年		構造	鉄筋コンクリート造2階建
	延床面積	1013.5m ²		敷地面積	11,548m ²
	室名	■会議室1・2・3・4・5■団体事務室■講義室■多目的室■和室			
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して岩舟地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		地域の拠点施設として運営され、生涯学習の拠点としても充実しており、その役割は十分に果たしている。公民館の館内は、子ども(児童・生徒)が自由に居られる場所があまりなく、部屋以外は冷暖房設備がないため、自由に利用できるロビーは季節によっては、居られない。今後は、気軽に利用できる公民館にするともに、より一層、地域住民が利用できる活動をお願いしたい。			
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考
収入	施設使用料	658	690	877	
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	612	661	705	
	計	1,270	1,351	1,582	
	前年度比	/	6.4%	17.1%	
支出	活動費	454	412	393	
	維持管理費	5,332	5,393	5,549	
	営繕工事費	0	0	13	トイレドアヒンジ修繕費
	事務費等	1,764	1,339	1,483	
	計	7,550	7,144	7,438	
	前年度比	/	-5.4%	4.1%	
指標名		28年度	29年度	30年度	備考
利用状況	利用者数	16,663人	17,654人	21,986人	延べ人数
	利用件数	1,409件	1,552件	1,790件	
	利用日数	335日	349日	336日	
	開館日数	359日	359日	359日	
	利用日率	93.3%	97.2%	93.6%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数	41日	26日	48日	
	参加者数	578人	537人	769人	延べ人数
図書室	利用者数	/	/	/	
	貸出点数	/	/	/	
支所等 業務	住民票等取扱件数	/	/	/	
	納税等取扱件数	/	/	/	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用受付時や利用終了後において、利用者と職員とのコミュニケーションを図っている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館職員研修会の機会を捉え、参加をしている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりやチラシの地域内配布、回覧、館内掲示等で情報発信をしている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	C		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		公民館講座や、文化祭においても地域住民や文化団体に参加協力を得ている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		住民ニーズを把握しつつ、必要課題としての講座を立案している。(美文字講座、ウォーキング教室、シニア対象パソコン教室)
	地域の学校などと連携しているか	B		A		アシストネット事業や、文化祭時の園児、児童、生徒の作品展など公民館を拠点に連携を取っている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	B		A		館内に団体事務室(会議机、椅子、印刷機などを備えている)を設置し、使用時には、青少年育成会議や関係団体との連携を図っている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	A		A		公民館講座において、自主グループ活動へと発展した団体は、文化祭への参加や社会貢献として施設への慰問を行っている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		文化祭において、文化団体、社会教育団体等の参加が得られ、相互の連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		常時、広く情報収集に努め公民館だより、地域への回覧、館内掲示等で情報提供をしている。
項目評価	B	B	A	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		H26.4公民館図書室から市図書館岩舟館として開館した。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		23 件	9 件	0 件	0 件	32 件
			71.9 %	28.1 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		91 人	27 人	1 人	0 人	119 人
76.5 %			22.7 %	0.8 %	0.0 %	99.2 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	公民館運営、地域の学習拠点づくり、施設利用について再度足元を見直し、よりよい方策を打ち出すことが必要とされる。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	A	地域の学習拠点の役割をはたしていることは良い。館内に団体事務室があり、関係団体との連携を図っている。現代的課題や住民ニーズを把握した講座等を立案しており、講座終了後も継続して活動がなされている。施設の利用者に対しては、積極的にコミュニケーションを取り、職員の対応が問題にならないよう情報を共有している。また、児童等の利用が活発に行われており、地域ボランティアの活動拠点となっている。今後は、施設内のフリースペースの改善をお願いしたい。特に夏場は送風機などを置いてほしい。				
改善事項		地域の生涯学習拠点施設として公民館運営全般を見直し、施設のハード面を含め、地域住民の皆様に利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して岩舟地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 静和地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	11.5km ²	人口	5.8千人	
施設	開館年度	平成26年		構造	鉄骨造平屋建	
	延床面積	516.95m ²		敷地面積	4,306m ²	
	室名	■大会議室 ■小会議室1・2 ■調理実習室 ■和室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して静和地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		新設して5年程度であるが、多くの地域住民が利用している。(普段は職員が)無人なので、利用の手続きが面倒である。今後も利用について、一層のPRをお願いしたい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	0	0	0	岩舟公民館使用料にて調定	
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	24	69		
	計	0	24	69		
	前年度比					
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	2,576	2,223	2,329		
	営繕工事費	0	0	0		
	事務費等	277	271	276		
	計	2,853	2,494	2,605		
	前年度比		-12.6%	4.5%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	8,909人	8,835人	10,643人	延べ人数
		利用件数	678件	761件	880件	
		利用日数	298日	313日	307日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	83.0%	87.2%	85.5%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		静和地区公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、消防訓練等を行っている。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
			- %	- %	- %	- %	- %
	総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)			
職員		B	無人ではあるが、住民のニーズに叶った施設運営をしていきたい。				
外部評価		総合評価	評価に関する意見				
公民館運営 審議会委員		B	新設して5年、多くの地域住民に利用されている。施設利用者には、毎回使用報告書の提出をお願いしているが、利用については満足されている。静和地区の活動拠点となっているが、無人の施設のため不便を感じている。今後も住民ニーズに叶った施設運営をしていくとともに、住民の交流と連携を大切にしてほしい。				
改善事項		公民館運営全般を見直し、地域住民の皆様にも利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して静和地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					

令和元年度(平成30年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 小野寺地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	24.1km ²	人口	2.9千人	
施設	開館年度	平成26年		構造	軽量鉄骨造2階建	
	延床面積	479.81m ²		敷地面積	1012.48m ²	
	室名	■第1・2・3会議室				
平成30年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して小野寺地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		利用者数が年々増加している。(普段は職員が)無人なので、利用の手続きが面倒である。今後とも地域住民に多数利用されるよう、PRをお願いしたい。				
【単位:千円】		28年度 決算額	29年度 決算額	30年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	0	0	0	岩舟公民館使用料にて調定	
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	0	0	0		
	前年度比					
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	872	906	988		
	営繕工事費	0	0	0		
	事務費等	56	46	52		
	計	928	952	1,040		
	前年度比		2.6%	9.2%		
利用状況等	指標名		28年度	29年度	30年度	備考
	利用状況	利用者数	786人	802人	1,863人	延べ人数
		利用件数	51件	63件	131件	
		利用日数	141日	152日	120日	
		開館日数	359日	359日	359日	
		利用日率	39.3%	42.3%	33.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件	
		納税等取扱件数	件	件	件	

事業の評価項目		29年度		30年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
項目評価						
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		小野寺地区公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、消防訓練等を行っている。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	調査件(人)数 満足度
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	B	無人ではあるが、住民のニーズに叶った施設運営をしていきたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営 審議会委員	B	公民館が無人であっても、地域の学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指しており、地域住民との交流や連携を高めている。小野寺地区の活動拠点となっているが、無人のため不便を感じている。今後も住民ニーズに叶った施設運営をしていくようにしてほしい。				
改善事項		公民館運営全般を見直し、地域住民の皆様には利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。					
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して小野寺地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					